

令和5年度 自己点検・自己評価結果

(福井県立看護専門学校)

令和6年6月

◆ 自己点検・自己評価の流れ

- ① 「看護師等養成所の教育活動等に関する自己評価指針作成検討会」報告書の評価内容一覧を基本に、他校の自己点検表も参考にしながら、本校の8分野48項目の点検項目を決定。
- ② この点検項目について、全職員による評価を実施。
- ③ 点検項目は、それぞれ

S：優れている(4)、A：当てはまる(3)、B：やや当てはまる(2)、C：当てはまらない(1)

の4段階評価を行い、()内の数字を評価点として各大項目別、中項目別の平均点を算出。

- ④ この結果に基づき、点検・評価を実施。

◆ 自己点検・自己評価結果と課題

全体の平均点は2.9であった。平均に達していなかったのは、「教育課程経営」「研究研修活動」の2項目であり、令和6年度の重点的課題として取り組んでいく。

1. 優れていた評価項目は、以下のとおりであった。

◎ VII 卒業・就職・進学 評価点：3.2

⇒国家試験合格率は100%（4年連続）で、全国平均93.2%（新卒）を上回った。

進路状況は、卒業生34名中32名（94.1%）が医療機関に就職した。うち、県内が31名（96.9%）、県外が1名（3.1%）で県内就業率は高く県内就職に貢献できた。2名（5.9%）は助産師過程に進学した。

中項目「地域社会」では、新型コロナウイルス感染症の5類に移行後、ふくい桜マラソンや不登校の学生への支援等学生にボランティア情報を提供し、学生は積極的に参加した。

2. 今後さらに取り組むべき評価項目は、以下のとおりであった。

◎ II 教育課程経営 評価点：2.8

⇒中項目「教育課程編成の考え方と具体的な構成」の評価点が2.5と低かったが、新カリキュラムにより新設された科目の到達目標に対する教員の共通理解が不十分と考えられ、共通理解を促進していく。中項目「教育課程評価の体系」では、「評価結果の活用における倫理規定の明確化」が求められているが、倫理規定がないため、作成していく。また、中項目「教員の教育・研究活動の充実」では、教員の長期研修派遣や産休・育休等により、人員不足や業務の偏りがおきたため、状況に応じた業務分掌の見直しや、教員が授業を準備するための時間を確保できる体制づくりをおこなっていく。

◎ VIII 研究研修活動 評価点：2.5

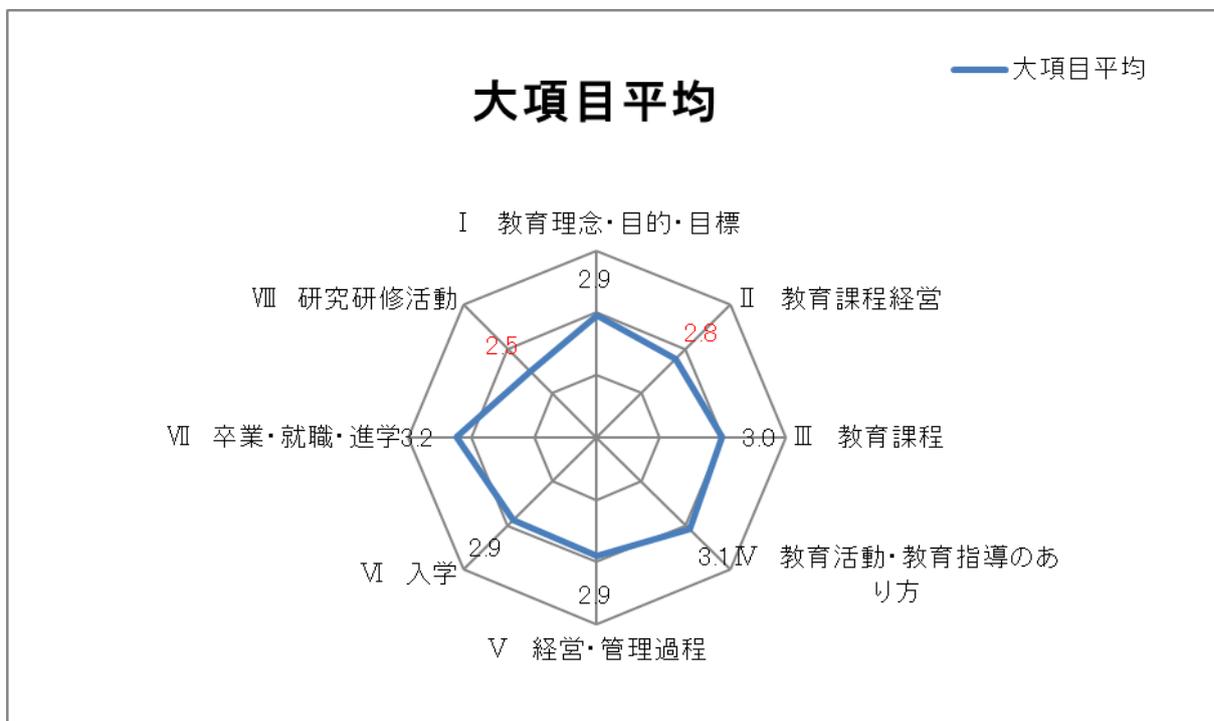
⇒日本看護学校協議会の第3回「私の学校自慢」に応募し、奨励賞を受賞した。しかし、十分な研究活動は行えず、学会発表や専門誌への投稿には至らなかった。

3. 今後の課題

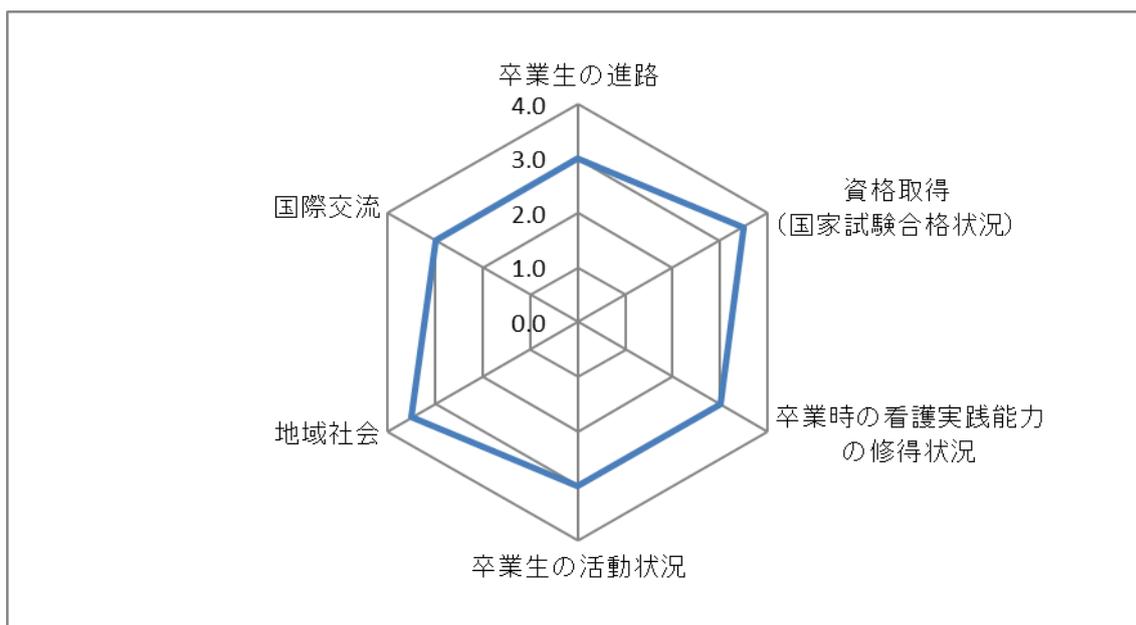
- ① 国家試験出願基準にそった教授、社会情勢の変化・看護学発展の方向性に合わせたカリキュラム内容の見直し。
- ② 教員の授業準備時間が確保できる体制づくり。
- ③ 状況に応じた教員の業務分掌の見直し。
- ④ 倫理規定の作成。
- ⑤ 実習病院・施設の協働による実習指導力の強化。
- ⑥ 入学志願者確保にむけた情報発信力の強化や対策。
- ⑦ 看護師国家試験合格率100%の維持。
- ⑧ 研究活動への取り組みの継続。

※ 大項目および評価項目ごとにその平均値を図にしたものは下記のとおり。

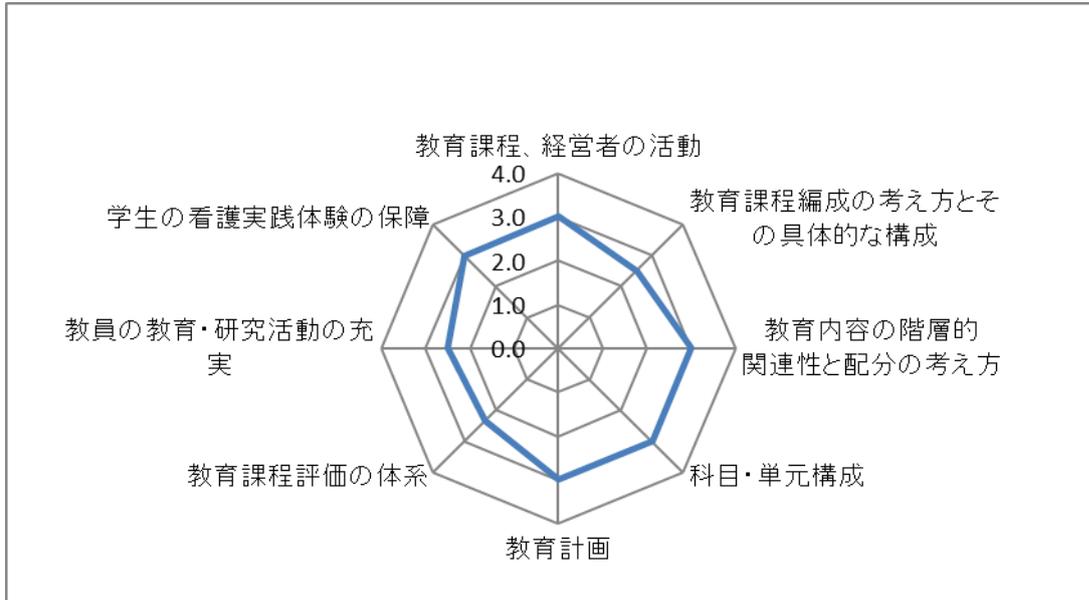
大項目平均



卒業・就職・進学



教育課程経営



研究研修

